

志あわせ

鳥取県社協だより

Autumn 第248号

令和6年10月1日発行



切り絵：バウンスポール／紙原四郎（とっとりいきいきシニアバンク登録）



音声コード「Uni-Voice」を
印字しています。音声コード
をアプリで読み込んでい
ただくと音声流れます。



音声コード Uni-Voice

もくじ

■ 今日之眼 境港市社会福祉協議会 会長 佐藤 邦雄	2
■ 地域福祉県民講座「第46回緑陰大学」 『アイ』であふれる社会へ～地域で助け合い、周りとの支え合い～	2
■ ねんりんピックはばたけ鳥取2024 開催直前！！	3
■ 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」紹介	4～5
■ 鳥取県版地域カルテのススメ	6
■ 「助けて、に`気づき、つながる地域づくり	6
■ 令和6年度鳥取県D W A Tスキルアップ研修	7
■ 「ともに生きる福祉学習推進事業」鳥取県立八頭高等学校を新たに指定！	7
■ とっとりボランティアバンク	7
■ 保育の魅力発信&就職フェア「保育のお仕事マルシェ in とりたん」	8
■ 鳥取県保育士・保育所支援センターの活動紹介	8
■ 令和6年度社会福祉法人会計実務研修会 ～初級編「第2回」～ 開催のご案内	9
■ 「令和6年度介護のお仕事親子見学バスツアー」を開催しました！	10
■ 鳥取県立福祉人材研修センター利用促進案内	10
■ 苦情解決事業研修会を開催しました ～福祉サービスの向上を目指して～	11
■ 赤い羽根共同募金	12
■ 県社協5ヵ年計画ほっとプラン2024策定	13
■ 御寄付御礼	13
■ 賛助会員を募集しています	14
■ 鳥取県福祉研究学会 第18回研究発表会 研究発表募集	16

今日の 眼

今年も日本の夏の風物詩のひとつである夏祭りが各地で実施されましたが、このような地域で受け継がれてきた伝統的なイベントはその地域住民の間の繋がりが相互協力の中で行われてきた行事ではないかと思えます。

しかし近年、少子高齢化や核家族化の進展、コロナ禍での活動自粛等により近隣関係が希薄になり、地域との繋がりが、互いに支え合うというような関係性を維持することが難しくなってきた状況で、イベントをはじめとし、その地域社会における様々な活動の継続実施が困難になってきているように感じます。

このように、地域社会状況や日常生活が大きく変化し、社会的孤立や生活困窮者の増加など地域が抱える課題は、複雑化、深刻化しています。社協としても困窮者支援、高齢者福祉・障がい者福祉向上などに人と人との信頼関係のもと地域福祉推進に取り組んでいます。

また能登半島地震や異常気象による集中豪雨等による大規模災害が日本各地で発生するなかで、災害対応、被災地・被災者への支援体制も重要になっています。

こうした中、子どもから高齢者まで年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して充実した生活を送るためには、行政、関係団体、地域住民とも連携を図り、地域で支え合い、助け合うという「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが一層大切であると思えます。

境港市社会福祉協議会 会長

佐篠 邦雄



地域福祉県民講座 「第46回緑陰大学」

『アイ』であふれる社会へ 地域で助け合い、周りとの支え合い

県民が広く参加し地域福祉について学ぶ地域福祉県民講座「緑陰大学」を、6月28日にハワイアロハホールで開催しました。

46回目となる今回は、『アイ』であふれる社会へ地域で助け合い、周りとの支え合い』というテーマを設定し、約200名の参加がありました。

講演①では、日野ポランティア・ネットワーク代表の山下弘彦氏より、『災害時にもいきる日頃の支え合い〜能登半島地震を踏まえて〜』と題して、これまで様々な被災地支援を行ってこられた山下氏が、今年発生した能登半島地震について、発災直後から何度も現地に入られ感じ



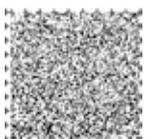
たことや必要な支援、私たちが日常からできる取り組みについてお話しいただきました。

続く講演②

では、元ヤングケアラー当事者の松岡園子氏より、『ヤングケアラーを体験して〜周りの人と一緒に〜』と題し、近年関心の高まってきている、子どもが障害や病気がある家族の介護、世話を担う「ヤングケアラー」について、自身の母親のケアをされた経験から、どのような支援が必要なのか、地域、学校、児童福祉の観点からお話しいただきました。



今年度の講演は、災害と子ども・若者支援という内容が異なるものでした。しかし共通していることは、1人で考えるだけではなく、周りとの協力する支え合いの体制があることで助かる人がいるとともに、有事の際には自分も頼れるという、安心できる環境の重要性です。そして私たち自身も関わることで地域づくりに連結していくということを考える機会となりました。



ねんりんピックはばたけ鳥取2024 開催直前!!

今月19日(土)から22日(火)の4日間、第36回全国健康福祉祭(ねんりんピックはばたけ鳥取2024)がいよいよ開催されます。全19市町村で29種目の交流大会が開催され、鳥取県からは650名を超える選手が参加されます。鳥取県大会では、Nintendo Switch版「太鼓の達人 ドンダフルフェスティバル」を使用したeスポーツ(境港市)や、鳥取県発祥のバウンスボール(倉吉市)が、ねんりんピックで初めて種目として採用され、県内各地でスポーツだけでなく、文化種目等様々な交流大会が行われます。

また、大会期間中は交流大会に加え、地域文化伝承館や美術展、音楽文化祭など、県内各所で様々なイベントが開催されます。開会式の会場でもある鳥取県立布勢運動公園(ヤマタスポーツパーク)では、鳥取県のご当地グルメや特産品の販売等が行われるふれあい広場が開催される等、誰もが楽しめる様々なイベントが実施されます。

～ボランティアによる事前活動の様子～

来県者をおもてなしの心でお迎えるため、昨年より意見交換会など準備を進めていた歓迎パネルの作製を行いました。

パネルには鳥取のおおや和紙などを使用して観光地を描き、鳥取をPRしています。



大会期間中は、1,000人を超える多くのボランティアのみなさまに、主要駅、空港での選手のお出迎えや、会場美化、受付・案内等々、様々な場面で大会をサポートしていただきます。ねんりんピック鳥取大会に、みなさまぜひお越しください。



▽主な大会イベントスケジュール

イベント名	会場	10/19 (土)	10/20 (日)	10/21 (月)	10/22 (火)
総合開会式	鳥取市：ヤマタスポーツパーク	○			
総合閉会式	鳥取市：とりぎん文化会館				○
スポーツ・文化交流大会	開催市町村 各会場 ※交流大会会場にて健康づくり教室開催	○	○	○	○
ふれあい広場	鳥取市：ヤマタスポーツパーク ※ふれあいニューススポーツあり	○	○	○	
講演会	鳥取市：とりぎん文化会館				○
音楽文化祭	倉吉市：エースパック未来中心		○		
美術展	倉吉市：倉吉博物館 境港市：境港市民交流センター	○	○	○	○
地域文化伝承館	米子市：米子コンベンションセンター ※その他健康に関するイベント開催	○	○	○	

※各イベント等の詳細は大会ホームページを御確認ください。



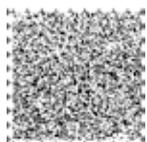
大会ホームページは
←こちら

鳥取県大会初種目

eスポーツ



バウンスボール



■ 問い合わせ先 ねんりんピック連携室 ☎0857-59-6338 ■

社会福祉法人による

「地域における

公益的な取組」紹介



社会福祉法において、社会福祉法人の責務化とされている「地域における公益的な取組」について、県内の社会福祉法人の取組をシリーズで紹介しています。

今回は、尚仁福祉会 相談支援事業所江美の郷の取組を紹介します。

Re・START支援事業

～多職種連携によるきめ細やかなアプローチ～

【取組の経緯】

高齢者福祉、障がい者福祉を地域で実践する中で、利用者や相談者を取り巻くご家族や近い存在にある方の中に、何らかの事情で就労していない、不登校などで自宅にひきこもっている、等のお話を伺うことがありました。しかし、そうした方から直接相談がない中で支援に結びつけづらい状況がありました。

そのような中、「すべての市民が孤立することなく暮らせるように」という江府町長の意向もあり、江府

町役場とともに、制度につながりにくい複合化した悩みや困りごとを抱える世帯への支援に取り組むこととなりました。

【取組内容】

令和2年度から事業を開始し、これまで10代～60代の方10名が本事業を利用されています。(令和6年8月時点)

まずは対象者の把握のため法人のネットワークを活用して情報収集、当事者や家族に対し事業説明を行いながら合意形成を行います。その後、当事者が安心できる居場所、交流できる場を作ることを通じて、段階的な社会参加や就労支援をお手伝いします。

江府町にお住いの方を対象としており、お子様からお年寄りまで年齢は問いません。ご本人だけではなく、ご家族やまわりの方からのご相談もお受けしています。

「自宅以外に居場所がない」「自宅から出たくないけど、外部とつながりを持ちたい」「仕事をしてみたいけどどうすればいいのかわからない」など悩みはあるもののごに相談したらいいかわからない…そう

いった方々やご家族の方からのご相談をお伺いしています。

本人への直接的なアプローチはなかなかハードルが高いため、まずは家族から本人の趣味等を聞き取り、本人の興味関心のある内容をメールしたり、検診等の情報提供から少しずつ関わりを作ったりしています。

また、尚仁福祉会から相談支援専門員(保健師・公認心理師・介護福祉士)、江府町役場から(福祉事務所の社会福祉士、保健師)が月に一度支援会議を行って一人ひとりに関わっています。ケース共有や経過、情報共有を行い多職種での連携、様々な視点からのアプローチを検討、実施しています。



支援チームのみなさま

江府町というコンパクトな町だからこそできる支援、顔の見える関係づくりを行っています。

【取組による成果】

・新型コロナワクチン接種について保健師に相談があり、支援を必要とする方の把握につながりました。ご家族が抱えていた思いを少しずつ話していただく中で信頼関係を築くことができました。コロナ禍で浮彫になった、コロナ禍だからこそ見つけることができた多職種連携によるきめ細やかなアプローチだと感じます。

・「在学中はスクールソーシャルワーカーが子どもに関わっていたのでこのような相談先ができてありがたい。」という声もあります。ライフステージに捉われのない、切れ目のない支援ができるのは強みです。

・障がいのため家から出かけることが難しい方でしたが、家においてできることがあれば、仕事をしたいとの思いをもっておられました。就労継続支援B型の在宅支援でパ



音声コード Uni-Voice

ソコン作業ができることをご紹介し、少しずつ時間を増やしながら取り組んでくださいました。この経験を通して、将来これだったらできるかもしれない、と本人さんにとって自信や可能性となればと思いますながら関わっています。

年に一度地域住民へ普及啓発、広報を行っています。令和4年度にはとっとりひきこもり生活支援センターの山本理事長をお招きして民生児童委員の方への勉強会を実施しました。この勉強会をきっかけに、色々な働き方があることを当事者の方に伝えてくださり、相談につながった方もいます。



【体験担当職員コメント】

まず大切に行っているのは信頼関係づくりです。今までの背景やご家族の思い、価値観、どのような生活をしてこられたかなどを丁寧に聞き取り把握するよう努めています。

す。安心して本当の気持ちを話していただけ存在になれたらと思います。多職種で様々な視点からアプローチできるのもチーム支援の強みだと感じます。

ひきこもりに対する偏見の払拭や正しい知識の普及により、理解があり相談しやすい、誰にとっても住みやすい地域になればいいと思います。

「寄り添う」とは言葉にすると簡単ですが、本当に私自身はできているのだろうか、と日々問いながら関わっています。困ったときに相談できる、この人だったら話してみようか、と思ってもらえる存在になれたら、という思いで取り組んでいます。

包括の部署もあり、分野に関わらず広く相談を受け付けられるようになっていきます。支援策を考える際に、自身の職種だけではどうしても視野が狭くなりがちなため、多職種、多視点から意見をもらえていい刺激になっています。

複合化した世帯の課題が多いため個別に応じた支援がより一層必要となっています。一部署、一支援で出せる引き出しがとても多く頼も

しいです。この相談者の方であればこの職員、という風に相談者にあったより良い支援ができるようにマッチングをしています。今後も強みを生かし、大切にしながら個別対応できたらと考えています。

【今後の展望】

・ 少しずつ地域の相談窓口として浸透できるように、民生児童委員、スクールソーシャルワーカー、子育て支援など、既存の機関とつながっていききたいです。

【体験者の声】

・ 誰にも話せることじゃないと思っていましたが、抱えていた思いを聞いて寄り添ってもらえるのは嬉しい。卒業後でも相談できる場があるのは心強いです。



取材後記

多職種チームの皆さまが様々な視点から一人ひとりの対象者の方を見つめ、丁寧にきめ細やかなアプローチをされていることに感銘を受けました。世帯の抱える複合的な悩みや課題が多い中、対象者だけでなくご家族の思いも受け止め、一歩ずつ進むための支援をされています。この度は取材させていただきました！

事例提供法人

社会福祉法人尚仁福祉会
本部／鳥取県日野郡江府町久連7
相談支援事業所 江美の郷／右記住所 福祉交流センター 江美の郷内

電話番号
(本部)

0859-75-3626

(江美の郷)

0859-72-3210

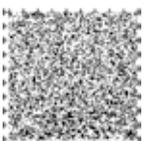
法人HP

<http://www.syoin.or.jp/>

他に実施している公益的

取組み

・ えんくるり事業、居住支援法人等



「鳥取県版地域カルテのススめ」 ありたい地域の姿を実現しよう！

令和6年3月に冊子「鳥取県版地域カルテのススめ」を発行しました。

地域カルテとは、地域アセスメント（情報収集・分析）した記録であり、地域づくりで重要なツールの1つです。本書では、次の8つのシートを策定しました。

- ① 基礎情報シート、② 社会資源リスト、③ 自治会シート、④ 自治会等年間スケジュール、⑤ 地域活動者ヒアリングシート、⑥ 役職一覧、⑦ 地域分析シート、⑧ 地域支援記録

これらのシートは次のような活用ができます。

「地域の状況を知る」

シートを作成することで、地域の状況をより詳細に理解できます。地域の情報をシートにまとめることで、社会資源やつながり、地域づくり事業の実施評価などを視覚化しやすくなり、地域分析に役立てることがができます。これにより、自治会域・日常生活圏域ごとの課題や支援強化ポイントを明確にし、分析結果を、地域福祉活動の目標設定や活動計画などに活かすことができます。

「得られた情報を共有できる」

局内や関係機関、地域住民と、地

域に対する認識を共有することができ、その結果、協働のポイントが整理でき、地域特性に応じた活動体制づくりを進めることができます。

「地域とのネットワーク形成」

市町村協力が持っている情報、特に社会資源や支え合いなどのつながりの情報を地域に提供することで、住民との信頼関係が構築しやすくなります。シートに情報が整理されていると、スムーズな情報提供が可能です。

「支援業務の可視化」

日々の働きかけや支援を記録しておくことで、業務の見える化ができます。これにより、地域づくりのプロセスや進捗状況を把握できます。

本書は、県社協ホームページでもダウンロード可能です。ここでは書き切れないシートの活用事例なども掲載されていますので、ぜひ一読ください。



県社協HP
(トップ>地域>
地域福祉の推進)

助けて、こゝ、気づき、つながる地域へ

みなさんやみなさんのまわりの人のなかに、「足腰が弱って」「ミ出しが少しくらくなってきた」など、人にはなかなか言い出せない困りごとを抱えている人はいませんか。

こうした困りごとを気軽に「助けて」と声をあげやすくする地域のつながりづくりや、そうした声に気づくことができる地域づくりのヒントとなるハンドブックを作成しました。

「つながりハンドブック」

困りごとや悩みを抱えた方の視点に立って、どうすればそれぞれの思いや悩みを声に出しやすくなるのか、話しやすくなるのか、そのヒントとなる内容をまとめています。



「気づきハンドブック」

ちょっとした困りごとや悩みを抱えた人たちのちょっとしたサインに気づくこと、声をかけたり、ご近所の

人に相談してみたり、みなさんと一緒になって考えたりすることなど、周りの人たちの視点で大切にしたいことをまとめています。



親しみやすいイラストを使い、絵本のようにストーリー仕立てで読みやすくまとめています。この2冊を活用して、「助けて」に「気づき」つながりがある地域づくりに役立てただければ幸いです。

このハンドブックを見てみたい、活用してみたい方は、本会地域福祉部までお問い合わせください。

また、本会ホームページからもダウンロードが可能ですので、是非ご覧ください。

HP: https://www.tottori-wel.or.jp/chiki/machi_top/

「鳥取県社協」で検索→トップページ「知る・調べる」▼「地域福祉の推進」



チームの実践力向上をめざす！ 令和6年度鳥取県DWAAT スキルアップ研修

鳥取県DWAATは7月31日（水）にチーム員の実践力向上を図るため、スキルアップ研修を開催しました。

本研修会では金沢市内の1.5次避難所で活動された米子市福祉保健部福祉課 岡田 綾様及び志賀町内の避難所で活動された社会福祉法人敬仁会 介護老人保健施設ル・サンテリオン 山根宏司様に活動された内容や課題等を報告いただきました。その後、1.5次避難所で支援を行った事例をもとに、要配慮者役とチーム員役に分かれてアセスメント演習を実施しました。

アセスメント演習は各グループで間仕切りと段ボールベッドを組み立て、実際の避難所をイメージしつつ実施しました。チーム員としてDWAATを知らない避難者へDWAATの説明を行うつつ、必要な情報の聞き取りを行い、対応についてチームミーティングを行いました。要配慮者役は避難者の知らない人から個人情報を知られるという被災者心理を体験することで、自己紹介の大切さ、アセスメントをするときのポイント

スキルアップ研修

を感じることができました。鳥取県DWAATは、市町村と連携した訓練等も通じ、今後の円滑な派遣活動に向け、更なる実践力の向上をめざして取り組んでいきたいと思っています。



チームミーティングの場面



アセスメント演習の場面

■ 問い合わせ先 災害福祉支援センター ☎0857-30-6367 ■

鳥取県立八頭高等学校を 新たに指定！

「ともに生きる福祉学習推進事業」

この事業は、福祉の心を育み「ともに生きる」社会の実現をめざすため、福祉教育の推進に理解のある学校を指定しています。

今年度より、新たに県立八頭高等学校を指定校として認定し、去る6月20日、同校で指定証交付式を行いました。

本会の藤井会長から認定証の交付を受けた県立八頭高等学校の岡田校長は、「本校では、生徒自身が身の回りの課題を発見し解決に向けて学びを深める翠陵探究を行っている。今回の指定を受けて、今後はより生徒が福祉に目を向け、自分たちの住む地域に関心を持つてもらえるような授業展開に取り組んでいきたい」と、挨拶されました。



とっとりボランティアバンク

そんなときは…

誰かのために
力になりたい

ボランティアの
力を借りたい

登録すると何ができるの？



ボランティア
したい人（団体）

ボランティア募集情報や
関連講座・研修などの情報
を受け取ることができま
す。



ボランティア
の力を借りたい団体

HPやメルマガを通じて、
ボランティア募集や関連講
座・研修などの情報を発信
できます。

どんな活動があるの？

災害支援

豪雨や台風で被災した地域では
土砂の除去や家具の運び出し等
を行いました。

生活支援

話を聞いたり外出を支援したり、
大雪の時は雪かきなど様々なボ
ランティアを行っています。

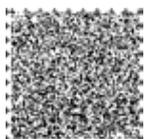
※過去の活動の一例です

ご登録
ください

☑ 登録方法
登録票に必要事項を記入のうえ、
FAX、Eメール、郵送等で送付してく
ださい。

HP : <https://www.torivc.jp/>
※HPから直接申込可能！

ご利用・ご登録は
全て無料です



【お問い合わせ・ご相談は】 鳥取県ボランティア・市民活動センターまで
ボランティアに関する悩み・ボランティアの募集や関連講座の情報等お気軽にご相談ください！

TEL : 0857-59-6344
FAX : 0857-59-6340

■ 問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344 ■

保育の魅力発信&就職フェア「保育のお仕事マルシェ in とりたん」

保育を学ぶ学生や保育士資格を活かした就職を希望する方、保育職場に関心がある方などを対象に、県内の保育園をはじめとする保育・児童福祉施設等の魅力発信と情報提供および保育人材確保につなげることを目的としたイベントを開催します。

詳細は本会ホームページ（就職フェア特設サイト）をご覧ください。

特設サイト▶▶



1 日時・会場 令和6年11月10日（日） 10:30～16:00

鳥取短期大学 シグナスホール大講義室・アリーナ（倉吉市福庭854）

2 内容

・保育の魅力発信ガイダンス・保育の就職フェア・魅力発信コーナー・キッチンカー出店

＜お問い合わせ＞ 福祉人材部 TEL（0857）59-6336

保育士・保育所支援センター TEL（0857）59-6342



鳥取県保育士・保育所支援センターの活動紹介

★保育のおしごと体験事業（中学・高校生向け）を実施しました★(11月にも実施予定)

保育のお仕事体験は、県内の中・高校生に保育所等での体験学習を提供することで、保育の魅力を実感してもらい、将来の職業選択のきっかけになることを目的に開催しています。

今年度は、県内の保育所、認定こども園計18施設において、7月25日（木）・30日（火）、8月1日（木）・6日（火）、11月1日（金）・22日（金）の6日間、延べ53施設での実施を計画したところ、大変多くの参加申込をいただき、夏休み期間中に150名が体験しました。

午前中は、プール遊びの手伝い・絵本の読み聞かせ・製作活動の手伝い・給食の補助など盛りだくさんの内容を体験し、午後からは、体験の振り返りや、園長先生や保育士さんから保育の仕事のやりがいなど貴重なお話を伺いました。

参加後のアンケートでは「今回の体験で本格的に保育士を目指したいと思いました。」「保育士仕事の一部でしたがしっかり学べて色々な体験ができ、一層自分の保育士の姿が想像できました。」「子どもと接する難しさを知り、将来の夢の勉強にもなってくれました。」など前向きな感想が多く寄せられ、保育士の魅力を感じていただけたようでした。



7/25 つばさ保育園



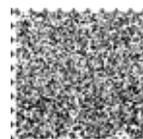
8/1 車尾保育園



8/6 上北条保育園

参加者の皆さんには、今回の体験を、ぜひ将来の職業選択の参考としていただければと思います。また、体験施設の職員の皆様には、お忙しい中多くの参加者を受入れていただきありがとうございました。

本センターでは、引き続き保育・保育士魅力を保育現場の皆さんと一緒に発信していきますので、ご要望等ありましたら気軽に本センターまでお知らせください。



令和6年度社会福祉法人会計実務研修会 ～初級編「第2回」～ 開催のご案内

会計担当者が作成する会計・財務資料は、社会福祉施設を運営する法人にとって、経営を分析し、経営戦略を考える上で、重要な役割を果たします。本研修会では、会計実務の基礎から学び、会計の知識を幅広く習得することを目的に、社会福祉法人会計簿記テキスト初級編（会計3級）を用いて、実務担当者の日常業務に沿い、練習問題を交えながら分かりやすく解説します。

内 容

・精算表 ・固定資産と減価償却 ・固定負債と引当金
・フローの計算書、実際の計算書類 ・基本金、国庫補助金等
・決算 ・計算書類の種類と様式

開催日時

令和6年10月29日（火）10：00～15：30

開催場所

はごろもホール（湯梨浜町）

※オンラインでの参加も可能です。（Web会議用ソフト「Zoom」を利用）

講 師

池原公認会計士事務所 公認会計士 池原浩一 氏

募集人員

50名程度（会場受講者）

受講料

2,000円／人

申込期限

令和6年10月15日（火）

テキスト

七訂版「社会福祉法人会計簿記テキスト 初級編《会計3級》

（実務出版株）を使用します。当日までに各自でご購入ください。

申込み及び問合せ先

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会福祉振興部

（電話 0857-59-6344 ファクシミリ 0857-59-6341）

メールアドレス keieisidou@tottori-wel.or.jp

■ 問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344 ■

MORRIX JAPAN Corp.



私たちは人にやさしい快適環境を創造し、
未来をデザインするヒューマン企業です。

介護・自立支援・栄養管理・勤怠・給与・会計・セキュリティシステムから
介護用品まで介護現場をトータルでサポート致します。

お客様の環境と問題点をお聞きし、事務の効率化、介護現場の効率化を共に
考え最適なシステムをご紹介します。

■ 当社の取扱い介護・自立支援・栄養管理システムメーカー ■

ND ソフトウエア株式会社（ほのぼの NEXT）

株式会社 ワイズマン

株式会社 東経システム（福祉見聞録）

株式会社 日立システムズ（福祉の森）

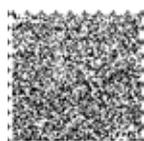
株式会社 コーエイコンピュータシステム（EIBUN）

株式会社 モリックスジャパン

本 社 〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町 203-6
TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 〒682-0812 鳥取県倉吉市幸町 529
ユーミーレジデンス 1-3 号
TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452

モリックスジャパン



「令和6年度介護のお仕事親子見学バスツアー」を開催しました！

夏休み自由研究応援企画として「介護のお仕事親子見学バスツアー」を実施しました。小学校4～6年生の親子を対象に、福祉施設の見学と福祉機器の利用体験、福祉系専門校の学習設備の見学と学校講師の助言を受けて自由研究のまとめ資料を作成しました。



■開催日・参加人数・見学先（東部と中部は各1回、西部は2回開催）

東部 令和6年8月17日（土）参加者7組14名
特別養護老人ホームふしの白寿苑・鳥取社会福祉専門学校

中部 令和6年8月3日（土）参加者7組16名
湯梨浜はごろも苑・鳥取社会福祉専門学校

西部 ①令和6年7月27日（土）参加者8組19名
②令和6年8月10日（土）参加者10組24名
特別養護老人ホームゆうらく・YMCA米子医療福祉専門学校

■参加者の声

- ・教えて下さる方がみなさん親切ていねいに教えてくださいました。（東部）
- ・とても体力が必要なイメージだったが、職員の方の負担が減るような設備が整っていることに驚いた。（中部）
- ・体験もですがまとめの時間もとっていただき、自分だけでは進めないところまで見守っていただくことができ助かりました。（西部）



■問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ■

鳥取県立 福祉人材 研修センター をご利用ください

鳥取県立福祉人材研修センターは、福祉人材の養成等を目的とした研修・セミナーはもとより、一般の企業・団体様の会議・研修などでも利用が可能です。全館バリアフリーで、多目的トイレ・点字ブロック等も完備。障がいのあるなしにかかわらず安心して利用いただけます。各研修室にはWi-fiも利用できるようになりました。

利用例

福祉人材の養成研修、介護知識・技術の講座
一般企業・団体の会議・研修
講演会・セミナー など

◆空き状況確認

とっとり施設予約サービス [検索](#)

福祉目的の利用には
利用料金の減免があります



所在地：鳥取県鳥取市伏野1729-5

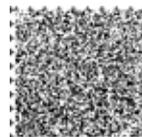
●開館時間：9時～17時（最大21時まで延長可） ●休館日：祝祭日・年末年始・保守点検日

各部屋の収容人数・利用料金等をインターネットでご確認いただけます。

[鳥取県 福祉人材研修センター](#)

[検索](#)

利用予約・ご相談 0857-59-6330



苦情解決事業研修会を開催しました
 ～福祉サービスの向上を目指して～

福祉サービス運営適正化委員会では、事業所の苦情解決体制整備に向けた支援として、毎年、苦情解決の取組を充実させていたため、研修会を実施しています。今年度は七月二十九日に苦情解決責任者（役員、理事等）、第三者委員等向けに「苦情解決事業研修会」を開催し、会場参加とオンデマンド参加（録画視聴）を合わせ、約三百名の社会福祉施設・事業所の方に参加していただきました。



研修では、御家族の介護体験から介護サービスの重要性和職員之苦労を痛感され、福祉・医療分野で積極的に講演されている、コミュニケーションサポートオフィス代表の喜山志津香様から「苦情を生まない対応・苦情に対する対応」と題して講演をいただきました。

まず、苦情に向かう基本姿勢として、苦情は改善のための価値ある情報源であること、「出さない」「大きくくしない」「繰り返さない」の三つを指すことを説かれ、グループごとに事例共有と意見交換を行いました。次いで、苦情対応の実際として、初期消火から苦情解消までのステップ（聞く→説ひる→解決策→感謝・再来歓迎）と苦情対応時の聞き方、話し方のポイントについて事例と具体例を交えて講義されました。その後、参加者がペアになって「話を聞く」「ご要望をお断りする」についてロールプレイングを行い、講師から助言をいただきました。最後に、苦情に強い職場の環境づくりとして、繰り返し返さないための職場内での情報共有と連携、一人で頑張らず職場の仲間とコミュニケーションをとりながらチームで対応することの大切さを伺いました。



会場参加者からは「ロールプレイングを交えながら多くの事例を通してわかりやすい話であった」「普段の電話対応や面談での表情、聴く姿勢などが改めて振り返ることができ良かった」「苦情解決だけでなく人とコミュニケーションの取り方についてわかりやすく話してもらえた」などの感想をいただきました。

今後も、当委員会では施設・事業所の皆様と連携して苦情取組体制の充実を図り、福祉サービスの向上につなげていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

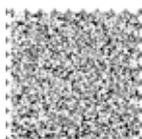
■ 問い合わせ先 福祉サービス運営適正化委員会 ☎0857-59-6335 ■

パソコン修理～ 介護ソフト～ 伝送設定～

OA機器 リース メンテナンス

有限会社 **松本事務機**

鳥取市千代水2丁目117番地 ☎0857-31-6661
<http://values.main.jp> FAX 0857-31-6662





赤い羽根共同募金

～じぶんの町を良くするしくみ。～



10月1日から共同募金運動が始まります
～ご理解とご協力をお願いいたします～

共同募金は、地域の福祉事業や活動に助成するため、事前に使いみちや集める額（目標額）を決めて、計画的に実施する募金です。地域には、様々な方々が生活しておられ、いろいろな地域課題があります。

共同募金ではその課題を解決するため、地域で「じぶんの町を良くするしくみ」を進める活動（地域福祉活動）を財政の面から応援します。また、近年では災害支援の分野にも役立てられています。毎年赤い羽根共同募金の一部を「災害等準備金」として積立て、地震や豪雨などによる大規模災害が発生した際に、被災地で求められる災害ボランティア活動に活用されています。



令和6年度の募金目標額	
合計	115,000,000円
一般募金	95,000,000円
歳末たすけあい募金	20,000,000円

十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、予め市町村ごとに助成先や助成事業を決めてから募金を行う「計画募金」です。そのため、支援が必要なおところに助成金が行き渡るよう、募金目標額を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。

募金の種類

直接募金をしていただく他、いろいろな募金の方法があります。詳しくは窓口にお尋ねください。

振込による寄付

最寄りの郵便局からお振込みいただけます。
(手数料無料)



ネット募金

インターネットから直接寄付ができます。



赤い羽根自動販売機

ご協力いただいた設置者様や飲料メーカーから、売上げの一部が共同募金として寄付される共同募金協力型自動販売機です。



令和6年度
オリジナルバッジデザイン

グッズ募金

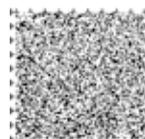
鳥取県オリジナルバッジや初音ミクなどコラボグッズの購入を通じてご寄付をお願いします。



令和6年能登半島地震災害義援金をお寄せいただきました

- ・4/22、8/19 鳥取県大衆音楽協会様
- ・4/30 日本防災士会鳥取支部 因幡地区有志一同様
- ・4/30 日本防災士会鳥取支部 有志一同様
- ・4/30 日本防災士会鳥取支部 伯耆地区有志一同様

あたたかいご支援ありがとうございました。



ほっとプラン2024 7つの重点目標

①住民の主体的参加による地域福祉の推進
誰もが支え合う社会づくりに向けた住民福祉活動の支援、高齢者活躍の創出など
②セーフティネット機能の充実・強化
困っている人を孤立させない権利擁護や困窮者支援・ネットワーク整備など
③福祉人材の確保・育成・定着
介護・保育など各分野のきめ細かな人材不足対策、質の高い福祉人材の養成研修など
④福祉学習・ボランティア活動の推進
多様な人との共生を学ぶ福祉学習の推進、ボランティアセンターの機能強化など
⑤災害時福祉支援活動の推進
個性の高い被災者支援、DWATの活動体制整備、ボランティア支援体制整備など
⑥社会福祉法人等への経営支援と福祉団体の活動支援
法人運営に関わる研修などの経営支援、当事者・職能等社会福祉団体の活動支援など
⑦地域福祉推進のための組織基盤の強化
県社協ミッションを推進するための人材養成、組織の活動基盤強化など

詳細内容は冊子化するほか、県社協HPIに後日掲載予定です

ほっとプラン2024策定 県社協5カ年計画

このたび鳥取県社協において、令和6年度から5カ年の中期事業計画となる「ほっとプラン2024」を策定しました。

県社協が取り組む事業は、地域福祉の推進や福祉人材の養成、さらに福祉学習や災害福祉など多岐にわたります。これらを確実に社会福祉課題の解決へ結びつけるために、明確な目標設定に沿った息の長い活動が求められます。

策定にあたり、まずは前期計画を改

めて振り返り、その成果や課題を確認することから始めました。その上で、部署横断による職員同士の話し合いや外部アドバイザーの意見も加えて目標を整理し、今期から重点的な目標テーマに「災害福祉」を加えて7つとし、そのもとに29個の取組項目を定める構成となりました。

詳細内容は冊子化するほか、県社協HPIに後日掲載予定です。

今後の道筋を具体化したこのプランを、日々の活動指針とするのはもちろん、職員自身の目標確認、さらには関係者や事業同士の目標を合わせた連携・協働の創出にも繋げていきます。

御寄付御礼

(順不同)

御寄付を賜り誠にありがとうございました。御意志に従い活用させていただきます。

〔地域福祉振興基金〕への御寄付 (生活困窮者に対する支援など、地域福祉の推進を支援しています。)

KDDI株式会社 様

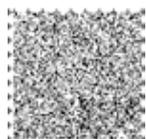
〔交通遺児福祉資金〕への御寄付 (県内の交通遺児へ激励金を支給します。)

有限会社仁徳砂利 様

〔災害支援活動用品〕

ライオンズクラブ国際協会336-B地区 様 【折り畳み式防災テント40張】

※寄贈いただきました用品は本会で保管し、災害支援活動に使用させていただきます。



■ 問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331 ■



賛助会員を募集しています



本会では、地域福祉の推進とみんなでつくる福祉社会の実現に向けて、“県民参画による福祉のまちづくり” “安心して暮らせる仕組みづくり” “福祉を担う人づくり”を中心に地域の様々な機関・団体と連携して、安心して暮らせる地域社会をめざしています。賛助会員の皆様のご協力をいただき、県内の地域福祉をより一層充実していきたいと考えています。本会の趣旨にご賛同いただき、会員としてご支援、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

会費（毎年度） 団体 一口：10,000円
個人 一口：3,000円

【賛助会員になるには】

入会を希望される方は、本会ホームページより加入申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入の上、本会まで郵送してください。入会申込書受理後、会費納入のご案内をお送りします。

◆申込書送付先◆

〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5 鳥取県社会福祉協議会 総務部

新規会員様ご紹介（令和6年8月31日現在、順不同）

一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 様

浦田 輝彦 様 北浦 喜美雄 様 上村 暁 様 浜本 修 様 唯 聡太 様 中山 貴雄 様
ご入会いただきありがとうございました。

寄付金に係る所得控除制度・税額控除制度について

本会は鳥取県より令和3年5月31日に「税額控除対象法人」としての証明を受けました。証明日以降の鳥取県社会福祉協議会への寄付者は、従来の「所得控除制度」に加え、「税額控除制度」のいずれか有利な方を選択し、控除の適用を受けることができます。

■所得控除制度（所得税法第78条の2の3）

〔その年中に支出した特定寄付金の合計額と、
年間所得金額の40%相当額で、いずれか少ない方の金額〕 - 2,000円 = 所得控除額

〔年間所得額 - 所得控除額〕 × 税率 = 控除後税額

■税額控除制度（租税特別措置法第41条の18の3）

〔租税控除対象寄付金（※1） - 2,000円〕 × 40% = 税額控除額（※2）

税額 - 税額控除額 = 控除後税額

※1 税額控除対象法人への寄付金。寄付金支出額が総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には40%に相当する額が税額控除対象寄付金となります。

※2 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

【控除適用を受けるには】

○所得控除制度…鳥取県社会福祉協議会発行領収書を添え、確定申告

○税額控除制度…鳥取県社会福祉協議会発行領収書および税額控除に係る証明書の写しを添え、確定申告

※税額控除に係る証明書の写しは領収書裏面に印刷しております

詳しくは、お近くの税務署にお問い合わせください。

■ 問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331 ■



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償 ^(*)		
地震・噴火・津波による死傷	×	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

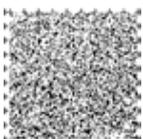
引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
保険会社

TEL : 03(3349)5137 受付時間：平日の9:00～17:00
(土日・祝日、年末年始を除きます)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL : 03(3581)4667
受付時間：平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



鳥取県福祉研究学会

第18回研究発表会 研究発表募集

ひとつひとつの小さな種（実践・研究）が、
やがて大きな花（福祉社会の発展）を咲かせる

募集締切

令和6年12月13日

発表対象者

鳥取県内に所属・在住する福祉に関する業務に従事している者、福祉に関する調査研究している者、
その他福祉に関心を持つ団体・個人

募集内容

- (1) 口述発表（奨励賞の該当区分）… 分野別の発表を募集します。
あらかじめ指定された時間内に、発表者が研究成果を口述により発表するものです。

No	分野	研究発表例
1	高齢者福祉(施設系)	介護、高齢者虐待防止、認知症ケア、地域密着サービス、生きがい対策等
2	高齢者福祉(在宅系)	
3	障がい児・者福祉	生活介護、生活自立訓練、就労支援、社会参加促進等
4	児童福祉	児童養護、保育、情緒発達支援、母子・父子家庭支援、児童虐待・DV防止等
5	地域福祉	地域福祉計画、住民福祉活動、福祉教育、ボランティア等
6	その他社会福祉領域	共生型ホーム、生活保護、成年後見、権利擁護、企業CSR、食育等

- (2) ポスター発表（奨励賞の非該当区分）… 分野を分けての募集はしません。

応募期間 **令和6年8月1日～令和6年12月13日**

鳥取県社会福祉協議会ホームページ
(<https://www.tottori-wel.or.jp/common/gakkai/>)
に詳細を掲載しておりますのでご確認ください。



(鳥取県福祉研究学会ホームページ)

応募先

鳥取県福祉研究学会事務局（鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部内）

第18回研究発表会の開催

- とき** 令和7年2月22日(土) 10:20～15:10 (予定)
ところ 鳥取看護大学・鳥取短期大学（倉吉市福庭854）

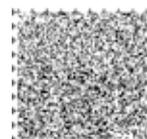


学会からのメッセージ

何度も試行錯誤を重ね、ようやく生み出される成果があります。少し視点を変えるだけで思いがけない発見をすることもあります。

私たちは、皆さんのこうした努力を応援し、専門性やノウハウを共有して、鳥取県域の福祉社会の発展向上を図りたいと思っています。

研究発表は、社会福祉に関わる活動、研究等を行っている方が日頃からの成果を発表する場です。
また、それは「自らを試し、自らを磨くこと」に他なりません。
皆さんの意欲的なチャレンジをお待ちしています!!



音声コード Uni-Voice